

おいじん

# Origin 訪問看護ステーション便り

第7号 令和5年1月発行  
香川県訪問看護ステーション連絡協議会  
発行責任者 藤田 裕子

ご挨拶

会長 藤田 裕子

新年のお喜びを申し上げます。

昨年中は香川県訪問看護ステーション連絡協議会にご参加ご支援いただき、誠にありがとうございました。

在宅看護や医療・介護関係者の皆様には、まだ感染対策を要する状況の中、使命感を持って日々貢献されておられます。しかし使命感だけでは済まない長期戦となり、疲弊しないように継続していかなければなりません。

協議会では、予定通りBCP個別研修を進めており、令和5年度中の完成と、その後のBCMとしての継続支援を勧めて参ります。

2025年問題も間近に迫り、政府は「地域包括ケアシステム」を推進し、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で生活できるよう包括的な支援・サービス提供体制の構築を地域ごとに目指すとしています。「地域包括ケアシステム」は、住まい、医療、介護、生活支援、予防をトータルにサポートする仕組みですが、実際には予防とならず、悪化してからの対応となることが多く見受けられます。解決策は、それらすべてを広く網羅し、つなぐことができる在宅看護師の活躍です。しかし、未だ訪問看護の必要や有用性が知られていないと感じることはありませんか。医療対応だけでなく、身体状態の今後を見据えた生活支援も然り、予防、早期発見対応など、私達の果たせる役割が多岐にわたることはあまり知られていません。看護アセスメントやマネージメント、説明・指導・相談など、在宅看護の重要な部分は目に見えない役割だからかもしれません。

活用が増えれば、その効果は利用者やご家族の苦痛減少や希望実現への貢献のみならず、医療保険や介護保険、入院や救急搬送などの減少にも大きく貢献するものです。目の前の保険料だけに目を向けるのではなく、全体として貢献度の高いものであることを広く知っていただく必要があります。生活のなかでは、医療と生活両方の視点を持った訪問看護師の活躍が、今後の時代を安心して暮らし続けられる地域にする要だと確信します。

香川県訪問看護ステーション連絡協議会では、訪問看護活用推進、訪問看護ステーション間のネットワーク、ステーション全体の質の向上、管理者の適切な運営・経営、支援などを勧めてまいります。

感染を考慮せざる負えない状況が続く、思うように研修などの実施できずしておりますが、今後も状況をみながら、支部毎や多職種とのネットワーク強化も見据えて勧めてまいりたいと思います。

連絡協議会への参加も毎年増えています。会員の皆様にはご意見ご要望など役員まで是非声掛け下さい。



## 訪問看護師への期待

三豊総合病院 地域医療部

医師 中津 守人



当院では、内科医 5 名、泌尿器科医 1 名、歯科医 2 名が、観音寺市と三豊市の一部を中心に在宅医療に取り組んでいます。コロナ禍で、病院や施設での面会ができないこともあり、自宅での療養や看取りを希望される患者さんや家族が増えており、在宅医療が見直されるきっかけになったのではないかと考えています。以前は、脳血管障害後遺症など重介護を要する患者さんが多くを占めていましたが、最近では、入退院を繰り返す心不全の患者さんや終末期の癌患者さんが中心です。医療依存度が高く、病状が不安定なケースが多いため、訪問看護師さんとの密な連携が重要です。当院には訪問看護ステーションを併設していますが、周囲の他の訪問看護ステーションの皆様にも大変お世話になっています。

さて、今回のコロナ禍で、地域における普段からの多職種連携が非常に重要であることを再認識しました。当地域では、行政、医師会、歯科医師会、薬剤師会などが共催で、在宅医療介護に関わるスタッフが集まる西讃地区地域医療連携研修会を定期的で開催しています。現在、地域の各訪問看護ステーションの紹介パンフレットの作成や訪問看護を紹介する研修会などを企画しています。私も、ようやく、各ステーションの責任者の方と顔の見える関係ができつつありますが、今後は他のスタッフの方とも顔と顔の見える関係を築き、スムーズな連携ができればと考えています。地域において、利用しやすい、また、何でも気軽に相談できる訪問看護ステーションであってほしいと考えています。今後ともよろしくお願ひします。



住宅型有料老人ホーム 光の華

施設長 堀井 洋尚

今年で開設 10 年目になります。途中で増築をし、現在は 58 床(夫婦部屋 2 床)を構えています。光の華では施設スタッフや訪問看護師、訪問介護士、ケアマネジャー、訪問診療医が連携し、「看取り」に全力で取り組んでいます。スタッフ一同の「光の華で看取りたい」という強い想いを胸に、最期に息を引き取られるその瞬間まで、その方が歩んできた人生を尊重し、しっかり寄り添うサポートを行っています。

当施設において訪問看護は重要な役割を担っており、施設内看護の重要性が高まったこともあり約 3 年前に施設内に訪問看護事務所を移転したという経緯があります。

日々の訪問看護に加え、訪問していない入居者様にも目配りがあり、スタッフ間の情報共有や訪問看護の提案をしてくれています。特に施設内看護の有用性を感じるのは状態悪化時や急変時の対応です。すぐに訪問し的確に情報収集、主治医に報告まで一連の流れで行ってくれます。利用者様にとってだけでなく、他の入居者様も迅速な対応を見て安心感を抱いていただいています。また、訪問看護が施設内に常駐していることで施設看護師の負担も軽減していると感じています。

光の華では「看取り」までするという強い想いがあります。光の華を終の棲家にすると入居された方がおられました。最期を迎えるまで各部署全力でサポートし、ご家族様から「晩年は光の華で過ごすことができ幸せでした」というようなお言葉をいただくと、いつも心が引き締まる気持ちになります。これは訪問看護だけのものではありませんが、一助となっていたことはたしかです。大それたことはせず、手の届く範囲の皆を幸せにする。光の華も訪問看護も同じ気持ちで一生涯懸命努力していきます。



## 新規入会ステーションからひとこと



### 訪問看護ステーションしんでん

管理者 佐伯 いくみ

当ステーションは、久米川病院に併設されています。バックベットの有し、安心して生活していただけます。PT・OT もおり、リハビリ対応も可能です。人と人との繋がりを大切に、日々一人一人に向き合ってサービスを提供します。



### 訪問看護ステーションエンジェル

管理者 林 京子

2022年3月1日に開設しました。真心と笑顔を忘れず誠意をもって24時間、365日安心安全な看護・リハビリを提供いたします。



### 宇多津訪問看護ステーション

管理者 川西 梨紗

香川県全域を対象に活動しております。またあの看護師さんに来て欲しいと思われるような看護を心掛けています。利用者様が地域で安心して暮らせるよう支援して参ります。



### 指定訪問看護ステーションナースネット

管理者 白川 智代

地域の医療機関、福祉関係、行政、地域支援団体と連携し、利用者様が住み慣れた街で元気に過ごせるよう、町を支えていく事業を目指します。



### 訪問看護ステーション和楽

管理者 穴田 幸一

精神科・心療内科専門訪問看護ステーションです。経験豊富なスタッフが、24時間サポート体制を行います。



### 訪問看護ステーション檀紙

管理者 兵庫 ちひろ

令和3年4月1日に複合型施設檀紙内において開設し、当面は施設入居者様を対象に介護・医療の両方の保険を利用した看護を提供しています。要介護度や医療依存度の高い方もご入居可能な限り環境作りを行っています。



### 訪問看護ステーション菜の花

管理者 滝本 真美

利用者様との出会いに感謝し、多様なニーズに柔軟に対応し、臨床判断を支援に生かしながら、変容過程や状況に寄り添った看護、その人らしく過ごせるよう支援していくことを重視しています。



## 会員募集中！

現在、香川県下には、122か所の訪問看護ステーションがあります。まだ入会されていないステーションの皆様、また新しく開設した訪問看護ステーションの皆様！香川県訪問看護ステーション連絡協議会へ入会し、現状や課題を共有、最新情報も吸収しながら、一緒に頑張りませんか。

年会費：1万円

お問い合わせ先：（公社）香川県看護協会

TEL 087-864-9070 / FAX 087-864-9071



## 研修会等報告

### 令和4年度 都道府県訪問看護ステーション連絡協議会交流会に参加して

7月7日、交流会にzoomで参加しました。内容は、一般社団法人全国訪問看護事業協会から自民党内の看護系関連部署に要望書提出の報告、地域医療介護総合確保基金の活用と訪問看護ステーション連絡協議会の活動について2つのアンケート結果報告等がありました。その後グループ会議があり、四国ブロックではBCP策定支援の取り組み状況や連絡協議会の取り組みについて話し合いました。

当会でもBCP策定の研修会を開催していますが、災害危機意識の高い地域や被災経験のある地域は、事業所間や他職種と連携することの重要性を理解し、BCP策定だけでなく災害対策マニュアル等の作成に取り組む姿勢に感服しました。香川県は動きが遅いと改めて認識する機会になりました。

協議会への新規入会状況については、他県も同様に、新規事業所・新管理者に対するフォローアップ体制や、入会メリットの見える化が、入会率アップの鍵であり重要な内容だと感じました。

入会して頂いている事業所に対し少しでもメリットと感じて頂ける様に、まずはホームページの内容を見直すことから取り組みを開始しています。ご意見があればお聞かせ頂けたらと思います。

報告者 訪問看護ステーションこころ 赤松勇一郎



### 令和4年度 合同研修「BCP作成・完成に向けて」を企画して

8月22日、香川県看護協会看護研修センターにて、各訪問看護ステーションがBCPの目的、内容、作成過程を理解し、令和5年度内に完成させることができるよう香川県看護協会と合同にて研修会を開催しました。新規に研修を受ける方も多数あったため、昨年度の研修のまとめと後半は事例などを交えて講演いただきました。参加者からは「講演を聴講して良かった」「理解が進んだ」との声がありました。導入部分であり、個人での作成にはまだ課題が残っていますが、今後、希望するステーションへの個別支援を行うことにより、令和5年度内に各訪問看護ステーションにおけるBCPが完成されると期待しています。そういう意味で、今回の講義は意義があり、作成に生かされると思われました。さらに、個別指導で完成した過程を、完成後に会員が共有できる機会を設け、多くの会員の作成支援に繋がればと考えています。

報告者 みんなの訪問看護ステーション 藤田裕子



### 編集後記

「おりじん Origin 訪問看護ステーション 便り」を発刊するにあたり、原稿をよせていただいた皆様に心よりお礼申し上げます。

今後とも当協議会活動へのご協力、ご参加をよろしくお願いいたします。役員一同



香川県訪問看護ステーション連絡協議会

ホームページ URL

<https://kagawa-houkan-st.com>

ご意見・ご要望お寄せください♡

随時更新中!

